

モニター通信 No.4

皆さんから寄せられた「モニター通信 11 月分」を紹介します。

「消費税が引き上げられたことで変わったこと」 ～上がる前の対策、上がった後の対策～

モニターから No. 1

消費税が8%に引き上げられたことで、スーパー等では5%内税で販売されていた商品が外税に変更。それにより本体価格の引き上げにもつながり、税のみではなく本体も実質的な値上がりになっている感があります。これから来春にかけて乳製品、その他の価格高騰が予想され、ますます生活しにくくなりそうです。

家の改築、車等の大きな出費は別として、食費等のほうは出来るだけ細かく気を使い、野菜等は無駄のないよう都度買いを、肉魚等は割安価格の際に多めに求め、冷凍庫を上手に使うよう心掛けています。年齢とともに衣類等の購入の機会も少なくなり、生活全体をコンパクトに日々を過ごすことを心掛けております。

モニターから No. 2

消費税が上がって変わったことは、毎日の生活の中でより節約を意識するようになったことです。夫は定年退職して二年目、パートタイムの仕事で、部分支給年金で夫婦二人だけの生活なら何とかやっていけますが、まだ大学生の次男に教育費がかかります。そういう中で、増税に伴う物価の上昇は大きな打撃でした。消費税が上がる直前にはトイレットペーパーや洗剤などを少しばかり買い溜めしました。以前、消費税が3%から5%に上がった時には買い溜めをした覚えはありません。経済的に余裕がなくなると、消費税の増税は家計に大きく響いてくるのだと実感しています。

また一方、年金や介護についての話題にも一層関心を持つようになりました。増税の目的は、介護などの福祉にお金を充当するためと聞いています。それが他の目的に使われたり、無駄があったりしては困るのです。以前、東日本大震災の復興支援のために使われるはずの税金が、まるで関係ないところにまで支出されていることが話題になりました。同じことを繰り返してはならないと思います。

モニターから No. 3

今年消費税が3%上がって8%となり、大方の人が価格表記が外税か内税かを気にするようになったとのことです。これは物の値段が急に上がったことから、主に食品の価格に現れたことと思います。物価の高騰は、円安傾向で輸入品の高騰によることが主と思いますが、一般の庶民は物の値段が上がったことで、節約と工夫をするようになってきたことがうかがえます。

買い物は無駄なものは買わない。特売日に買い物を行うようになり、節約ムードが高まっています。物価の高騰と賃金が思うように上がらないことに、生活が慎重になってきたことが感じられます。

世の中は年末の総選挙でアベノミクスと更なる消費税の是非を国民に問うこととなつていますが、今こそ生活の実態を見つめ直し、行政への依頼と自生活の改善を行う時と考えます。人口の高齢化と年金受給者の増加で今までにない生活の見直しが要求されている今日、健全な老後の生活を心掛けていきたいと思ひます。

モニターから No. 4

トイレットペーパーや洗剤など、日用品は3月の時点で駆け込み購入しました。でも、それは単純に「今のほうが安い」と思つたから。購入した商品がなくなるまでは、新品を再購入はしないけど、別に買い控えをしているわけではないし、消費意欲もそこまで落ちていないと私は感じています。

そもそも消費意欲は増税前も底をついていた気がするので、あまり変わらないと言つたほうがいいかもしれません。景気がいいといつても実感は感じられないし、増税前から節約のために消費は減らしていたので、あまり影響はありません。長引く不況の影響で、もともと消費意欲は低迷しており、増税以前も以後もマインドは変わらないし、節約しつつも必要なものであれば引き続き購入している状態です。

国民の消費マインドがあまり大きく反応することがなくなつてしまつたことが、今後の課題だと思ひます。

モニターから No. 5

増税前の日用品の買い溜めはしていません。生活は厳しくなつています。毎朝の食料品について、うちの場合は、朝はパン・牛乳、昼は麺、夜は米飯です。隣近所では、うちと同じか、一日三食米飯の家もあります。

以前から指摘されていることですが、日本人の食料自給率(カロリーベース)は30%台で、約6割を海外からの輸入に依存しています。食生活が大きく変化しているのに、農家の米作りへの偏りを変えて小麦・大豆等を生産して欲しい。円安で輸入品は値上がりするばかりです。便乗値上げもあります。

モニターから No. 6

我が家ではあまり変化は有りません。常に、必要なものは必要に応じて購入するという生活です。消費税が上がるからと言つて、買い溜めなどの無駄はいたしません。年金生活者は上がれば上がった、下がれば下がった生活しかないのです。政治家さんのなさる事は、自分の生活とは関係のない取りやすいところから(弱者から)取るというようにしか見えません。選挙はお金がかかるというのに、任期満了でもない自画自賛・私利私欲の選挙を強行して、いったい何処で節約をされるのでしょうか。

高齢者の暮らしには僅かな変化(損)のように見えますが、我が子の世代、子育て世帯での家計には精神的にも経済的にも負担増加のようです。子育て世代への補助が僅かに上がつても、日常的生活ではそれ以上の負担増加を感じていると聞きます。食品の値段はジワリジワリと上がつています。増税に伴いスーパーの値札表示が内税方式から外税方式に変わりました。幼児を複数人連れての買い物ではゆっくり表示を確認したり、値段を見比べたりする余裕などありません。信頼するメーカーの商品を買い物かごに入れ、必要な物を買ひ揃えることで精一杯です。家に帰り

レシートを見て驚きます。消費税の増加は8%のはずが、全体で20%くらい合計金額が増加しています。これも政府のデフレ脱却の一策でしょうか？

もし両親が生きていたら、父は今百十五歳、母は百十歳となります。戦争に勝つことが大事だった50年間。国土を焦土と化して終戦。復興と経済成長が何より大事だった70年間に生き、死にました。国民としての義務(納税その他)を忠実に果たしました。国民を大切にしない国を愛して死にました。父も母も「己を許して、人を責めるな」と言って嘆くことでしょう。14日には、亡き両親と一緒に投票に行きます。

モニターから No. 7

今年4月から消費税が増税されて、財布には常に1円玉が入っているようになったり、買い物の際には予め自分で計算しながら買うのだが、支払いの時に約1割上乘せになり、何だかすごく損をした気になる時がある。増税前の3月末には、マスコミや広告に煽られて、洗剤や調味料などを買い溜めしたが、一時しのぎに過ぎなかった。やはり、たかが3%上がるだけなんて考えていたけれど、大きな3%だった。高額な物を買う時には、さらに負担に思う事だろう。

8%なんて半端だから10%の方がキリがいい、計算しやすいと思っていたけれど、それはそれで困ってしまう。

モニターから No. 8

消費税の引き上げ前日は日持ちする日用品を少し買い溜めしました。特別大きい物は買い替えの必要もなかったなので、その時に必要な物だけをいつもより少し多めに購入しました。それ以外は、特別何かした覚えはありません。

上がってからは、節約を今までよりも強化しようと思っています。上がってしまったのは仕方がないので、どう切り抜けていくかを考えるとやはり節約しかありません。これから8%→10%に上がるのは、時間の問題です。電気代、水道代などもどんどん値上がりしている今、共通することは節約ですね。身のまわりでできる節約をコツコツしていくことが、私の対策です。

モニターから No. 9

5%から8%という、大したことはないのでは仕方ないと思っていました。しかし、実際は5%価格に8%が加わっているあり様。昔の(5%)価格を表示して、実際の8%の価格を表示して頂きたいくらいに、物の値段が上がっているのに、正直驚きです。これが10%になる時には、いったいどうなるのかと思ってしまいます。とにかく必要なもの以外は買わずに、ストックも無くして何とか対応しているあり様です。

モニターから No. 10

消費税が上がる前は、日用品で保存できる物を少し買い溜めしました。住まいのスペースの関係であまりたくさんのはできませんでした。家電の買換えも考えましたが、あわてて購入するのは止めました。消費税UPは仕方がないことと思いつつも、価格表示がほとんど税別なので惑わされてしまい、支払う時にビックリしたりしています。価格表示は全て統一して欲しい。

UP後の対策として、特別なことはありませんが、生活全般の見直しをしなければと思っています。本当に必要な物を、少量でもいい吟味した物をスッキリとした生活を心掛けたいと思いま

す。

モニターから No. 11

5%⇒8%に引き上げ前に保存可能な商品の駆け込み購入をしましたが、どれ程の金額が節約出来たのか？把握できませんでした。引き上げ後の効果(消費税収での年金や医療、子育て支援)も確認されていません。以前は5%の内税で分かりやすかったのですが、8%では外税表示、税抜き価格の強調表示となりましたが、生活者が望むのは「税込表示・本体価格・税額」のトリプル表示が望まれます。

年度初めは買い控えをしていたのですが、時が経つと価格の変更だけでなく、商品の提供方法、組合せの変更など、既存商品の付加価値を高め消費者の価値感覚を惑わせることが多くなった。現在の対策は「チラシをよくチェックする」「割引券やクーポン券の利用」「外食を控える」「メリハリ消費」等を心掛けようと考えています。

モニターから No. 12

消費税が上がる前、車の廃車を決め新しい車を買いました。セールスマンの方の決まり文句も、消費税アップの前に！！で一生懸命対応してくれましたが、結果的には急いでしまい、かえって高い買い物になった気がします。冷静さを欠かさないよう、次の税率UPの時には、落ち着いて対処したいです。

一方、上がった後は支出増を実感しています。成長期の子供がいるため、栄養面に気を付けて、安く美味しくボリュームアップ出来るようなメニュー作りに励んでいます。安くて食物繊維が豊富なもやしは常備品です。料理のレパートリーも増えました。気を付けているのは、税込価格を意識した買い物をすることです。スーパーでは、本体価格しか表示していなかったり、本体価格が大きく表示されていたりするため、総額でいくら払うのかを、常に意識して商品を選ぶよう気をつけています。

楽しみながら増税に負けない工夫をしていきたいです。

モニターから No. 13

消費税が上がる前、買い換えようと思っていた大物家電を買うかどうか迷った。しかし、元値の値引き率によっては消費税引き上げに関係なく買うことができると判断した。ネットの価格ドットコムで調べれば、かなりお得に買えるのだ。消費税そのものに囚われてしまうとかえって高い買い物になってしまう。しかし、日用品に関してはある程度買い置きした。大した節約にはならなくても、小さな家計防衛にはなる。

引き上げ後の生活は、スーパー等の特売チラシをさらによく見るようになったことだ。時間のある時は、スーパーのはしごをする。もともと余分なものは買わないようにしているのだが、それに拍車がかかったと思う。情報を集めて賢い消費者になるように心掛けている。上がってしまった以上、同じ商品を安く買う方法を見つけることにしている。

モニターから No. 14

消費税が上がって、その増税分の使い道は、政府の言う通りなら年金・介護・医療に使われるということなのだから仕方ないと思うが、その分だけ収入が増えたわけではない。したがって、

生活スタイルを維持するためには、いろいろと節約を考えなくてはならないと思い、実行している。車の運転はエコ運転を心掛けている。アイドリングは絶対にしない。スタート時にはそろそろと走り出し急加速はしない、停止には前もって準備して惰性で止まれるくらいの速度に落とすために赤信号が見えたらアクセルをはなす等々。

スーパーでの買い物には夕方の安売りになってから行く。どうせ夕方まで調理はしないのだから、早く買って自宅の冷蔵庫で電気を使ってストックしておく必要はない。衣料品その他は大切に扱ってなるべく長く着る・使う。古臭いなどの理由では捨てない。夏に冷房の設定温度を上げたし、今は暖房の設定温度を下げた。幸か不幸か家族の都合で旅行の回数が少なくなった。資産の運用は利息の安い日本の銀行ではなく海外の銀行に外貨で預けたら、利息以外にも円安のおかげもあって、増税分をはるかに上回る収入となった。

増税をきっかけとして、そのほかにもこのようにいろいろと考えようになったことは、良かったと思っている。

モニターから No. 15

前にも書いたかもしれませんが、消費増税前にドアのリフォームをしようとしたところ、駆け込み需要で品不足のため仕入れ元が値上がりしたということで、はじめの話より何万円も高くなってしまいました。便乗値上げ(?)と思いましたが、頼んでしまいました。

また、最近では別の業者で外壁塗り替え、雨樋、その他諸々まとめてやってもらいましたが、消費税だけで10万円ちょっとでビックリしました。8%でこれなので、10%になったらとても大きいと思います。しかし、必要なことはやるしかない。また買うしかないので、対策と言っても無駄遣いをしない事と従来通りしか思いつきません。

何か他にあるでしょうか。

モニターから No. 16

消費税が5%から8%になり、自分自身の感覚がようやく8%に慣れてきました。8%になる直前は、マスコミ等に踊らされて買い溜めしてしまった人、壊れていないのに家電等を買換えてしまった人等、様々だと思いますが、私もその一人です。上がる前に少しでも安いものという心理からです。しかしながら、意外にロスが多かったというのが正直なところです。物が増え、家の中が片付かなくなり、マイナスな面が多かったです。今、自分に何が必要なのかを見極め、それを補う程度で良かったのでは、というのが実感です。

8%になってから大幅に変わったということはありませんが、極力無駄なものは買い控えています。さらに手軽に出来ること、たとえばLEDに替えたりチラシを活用したり、節電・節水に努めたりということは実践しています。家事のやりくりは大変ですが、やりくりが楽しくなるような生活スタイルを目指していければいいなと思っています。

今後、消費税が10%になるかどうかというのは不透明ですが、5%からすれば倍です。国民にとっては更なる負担が待っています。買い換える必要があるもの、修理しなくてはいけない箇所等、今からリストアップしておかなくてはと思っています。

モニターから No. 17

今年4月に消費税が8%にアップされ、さらに来年には10%に上げられようと検討されてい

ます。わが家では、今年8%に上がる前に少しでも節約しようと、買い替えの必要があった電化製品や家具などを前倒しで購入しました。そして消費税のアップとともに、スーパーに並べられている食料品をはじめガソリンや公共料金も含め、今では日常生活必需品物価の値上がりは消費者にとって無視できない状態になってきています。加工品や輸入品などは原料高もあって2割以上値上がりしているような感覚です。

今のところは急に消費を抑えることはありませんが、新聞チラシを見て比較し、品定めをするようになったり、消費期限をみたり、同じものでも安全安心が担保されれば、計画的に少しでも廉価で物品を購入するようになりました。さらに、今必要でない物の購入や衝動買いは控えるようになってきたと思います。

これから寒い冬になり、光熱費もかかりますが、知恵を出して生活を見直し、エンジョイしたいと思っています。

モニターから No. 18

食品など消費税はわずかですが、塵も積もれば山となるということを実感しています。食品は安全でなければいけないので、多少割高でも必要であれば用途に応じて購入します。安い時に買い置きしたりしましたが、賞味期限や消費期限が切れて捨てることもありました。最近は時間があるので、必要なものを必要量買うという省力をしています。

増税分が社会補償に活かされてくれれば・・・と願っています。

モニターから No. 19

給料はここ何年来も上がらないのに、物の値段だけ上がっていき、心して質素儉約の日々を送らざるを得ない生活です！本当に必要な物だけを買って求める消費形態に徹し、年金生活を間近にすれば尚更です！

老いも若きも、あらゆる経済ショックを経験し、経済への危機感を常にもっている昨今、よほどの好景気にでもならなければ消費は買い控え、冷え込む一方で活気ある消費は今後望めないのでは・・・とってしまいます。

モニターから No. 20

今年の4月1日から消費税が8%への引き上げ実施された以降は、日用品や日々の食品などを購入しての支払い時に「え～、こんなになるの？」と驚くばかりでした。引き上げられる前はそんな意識はなく、マスコミなどで「買い溜め」との言葉が躍っていましたが、あえてしませんでした。しかし消費税引き上げ後、家の中の必需品(エアコン・給湯器・流しの水回り)など、耐用年数が過ぎた所や物が出てきて、どうしても修理・交換が必要になりましたが、意外と消費税が上がった直後であったせいか、消費税が上がる前の価格で出来ました(きっと直後なので、需要が減ったせいなのでしょう)。

これから更にまた10%に上がったら、年金受給額の減少、介護保険、電気代の値上がりや物価上昇で生活するのが大変です。エコを考え、計画を立て、毎日を過ごすことが大切です。心は豊かに楽しみを見つけ、今を過ごそうと思います。

モニターから No. 21

消費税引き上げ前の対策であるが、極めて限定的にならざるを得なかった。

- ① 各種保険の契約内容を見直して、医療保険・傷害保険を中心に必要不可欠のものに絞り、引き上げ後の生活費の増加に備えた。
- ② テレビ・自家用車・壁の塗り替え等、多額の支出を伴うものを優先して実施した。
引き上げ後の対策としては
- ① 家庭菜園で野菜はほとんど間に合わせ、近所付き合いにも利用している。
- ② 食糧品等日用品については、単価を良く比較し少しでも安く買うように努めています。
- ③ 宅配を利用し、計画的な日用品の購入に努め、不足するものをスーパー等で補うよう心掛けています。

モニターから No. 22

消費税の引き上げは社会保障制度の維持の為に必要不可欠の制度と分かってはいても、年金生活者であるので、年金は下がって物価が上がる経済の中で収入減物価高の影響をもろに受け、どうしても節約志向が強くなっています。

消費税が上がる前の対策としては、月並みですが大きな支出となるもの、例えば自家用車、テレビの買い替え、居宅の壁の塗り替え等を実施しました。消費税引き上げ分約10万円位は支出を少なくすることが出来たと思います。消費税引き上げ後の対策としては、消費を抑えるに尽きる訳ですが

- ① 家庭菜園で極力野菜の購入支出を抑える。
- ② 灯油・ガソリン・ガス等燃料費の支出を抑える。
等に努力しています。

最近

- ① 食料品、衣服ともに衝動買いをしなくなった。
- ② 商品の価格表示が、本体価格が大きく税込価格が小さく表示されているので、価格を良く見るようになった。
等を、強く感じます。

モニターから No. 23

消費増税により日常生活に変化はありませんが、年金支給月になると少しは消費抑制の気持ちがおきます。高齢化の坂道を登っているので、年を追うごとに消費活動は先細りになることが明白です。そこで、増税により節約しようとする方向性はありません。年齢的に現在が一番消費活動の自由の度合いが大きいので、これからの消費スタイルを変化させる計画はありません。

しかし5万円以上の品物を購入する場合は、少しでも税負担を軽くするためにネットで最安値を調べてから、購入する姿勢をとっています。これからは年金が減額され消費税は増額されることは承知ですが、臨機応変に消費活動を楽しみたいと思っています。

モニターから No. 24

消費税が上がる前に私と家族がしたことは、消費期限の長い生活用品のまとめ買いでした。加えて増税前の新聞に「たくさん買ったからと、つい安心して浪費しない。計画的にとという」という記事を読んで、買う物とその使い方を家族で考えました。

上がった後は、お店の値段の表記が統一されなくなったので、税込か税抜きかチェックすること。どっちかわからない時は、税抜きと想定して携帯電話の電卓で計算してからレジに行くようにしています。

モニターから No. 25

消費税3%UPは年金生活者にとって大きな負担ですが、絶え間なく続く日常を崩さず維持することが大切です。そこで増税に負けない家計防衛術を考えてみました。

- 予算の管理に気を付ける
- お金行動をセルフチェックしてみる
 - ・スーパーに行く頻度を下げる
 - ・習慣(惰性)で買っているものはないか
 - ・セールを追いかけて無駄買いをしていないか
- 買った物を有効に消費しているか

等、やってみると無駄も分かり工夫も生まれ、発見もありお金の管理に気を使うようになりました。